

政策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち
 基本施策 : 02 ICT関連企業集積と産学官連携の推進

1. 基本施策が4年間で目指す姿

雇用が生まれ、市民が生活に不安なく暮らせることは、幸福感を育む環境づくりには欠かせないものであり、そのためにも既存企業の発展又は企業誘致に伴う企業の集積による雇用の創出は不可欠です。大学が立地する環境を活かし、滝沢発の価値が生まれる取組に産学官を挙げて挑戦する状態を目指します。

2. 基本施策目標値の達成状況

No	基本施策目標指標	基準値	上:目標見込値/下:達成値			
		H30	R1	R2	R3	R4
1	法人事業所数(単位:所以上)	956	956	956	956	956
			967	989	999	-
2	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じて いる人の割合(単位:%)	34.6	39	43	46	50
			36.6	36.3	34.7	-

3. 基本施策の達成(実現)に向けた基本計画内の取り組みと方針

ICT関連産業の集積地を目指す本市として、滝沢市IPUイノベーションパークへの企業立地の促進と、集積したICT関連企業及び大学や研究機関のポテンシャルを活かし、IoT、AIの活用による市内商工業者の生産性向上に向けた支援を行います。

- ・IT企業の誘致を進め、盛岡広域都市圏におけるICT産業の拠点化を目指します。
- ・産業用地の拡大に向けた検討を進めます。
- ・市内商工業者の振興に関する仕組みの検討を行います。
- ・Society5.0に向けた、地域人材の育成と産学官の研究開発を進めます。

4. 基本計画内期間(令和元年～令和4年)のうち、令和4年度の重点課題

- ・産業用地の拡大について、関係機関と協議の上、全体ビジョンを作成します。
- ・滝沢市産業振興条例の展開に向けた取り組みを行います。
- ・ICT、IoTを活用した地域人材育成を推進します。

5. 基本計画期間及び令和4年度の重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・産業用地の拡大については、岩手県及び岩手県立大学と連携し、全体ビジョンを明確にし、令和5年度に岩手県へ事前協議を行う必要があります。
- ・産業振興条例の展開は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者にとって、重要な取り組みになるものと考えられます。

政策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち
 基本施策 : 02 ICT関連企業集積と産学官連携の推進
 施策 : 01 企業の誘致と支援

1. 施策の内容

滝沢市の特色であるICT関連産業の集積と産学官連携の推進を実施するため、市の特色を活かした産業集積の展開、IPUイノベーションセンター、同パークを活かしたICT関連産業の集積促進を図ります。また、集積する企業、既存企業の事業拡充を支援し、競争力の強化を支援し、市内の中小企業の経営安定化、起業支援を実施します。

2. 施策目標値の達成状況

No	施策目標指標	基準値	上:目標見込値/下:達成値			
		H30	R1	R2	R3	R4
1	IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数(毎年4月1日) (単位:社)	19	21	24	26	29
			24	24	29	-

3. この施策の4年間のスケジュール

R1	R2	R3	R4
産業用地の整備方針等の検討及び各種法規制の確認 →	産業用地の整備方針等の検討及び各種法規制の確認取りまとめ →	産業用地の整備方法の検討 →	産業用地の整備方法の検討 →
市内商工業者の振興に関するルール作りの検討 →	市内商工業者の振興に関するルール作りの検討 →	市内商工業者の振興に関するルールに基づく取組実施 →	市内商工業者の振興に関するルールに基づく取組実施 →

スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き

滝沢中央スマートインターチェンジ供用開始 →		(都市計画法)令和6年度都市計画定期見直しに向けた基礎調査 →	(都市計画法)令和6年度都市計画定期見直し区域修正作業、市町村調整(農振法)令和4年度農業振興地域整備計画定期見直し →
岩手県中小企業振興第2期基本計画策定 →	県内各市町村で振興条例等制定の動き →	小規模企業振興基本法改正の動き →	(国土利用計画法)滝沢市国土利用計画最終年度 →

4. 施策の達成(実現)に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・「市の特色を活かした産業集積の展開」として、大学の前に設置したイノベーションパークへの企業誘致を進めます。
- ・産業用地の拡大に向けた検討を進めます。
- ・ICTの活用を大学と連携しながら既存企業に普及させ、生産性の向上を図ります。
- ・滝沢市産業振興条例に基づき、令和4年度は市内事業者と地域の更なる連携を図り、地域に根差した企業として市内事業者の経営安定化に向けて取り組みます。

5. 基本計画内の取組と方針のうち、令和4年度の重点課題

- ・イノベーションパークへの企業誘致を進めるとともに、新たな産業用地確保の検討について進めます。
- ・産業振興に関する条例に基づく、具体的な事業主と地域の連携事業を進めます。

6. 基本計画内方針及び令和4年度重点課題に基づく優先順位の考え方

社会経済情勢を踏まえ、既存企業については、ICT技術による生産性の向上を第一とし、企業誘致については、活発な大学との連携を進めることで、魅力ある研究学園都市としての側面の強化を図ることを優先します。

7. 今年度の施策について

- ・産業用地の確保に向け、関係機関との協議・検討を行います。
- ・IPUイノベーションセンターを拠点としたICT人材育成の取り組みを行います。
- ・市民を対象に、滝沢市の産業振興について考えるワークショップを開催します。

【新型コロナウイルス感染症関連施策】

- ・原油・物価高騰の影響を受けている事業者への支援策を実施します。

政策	: 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち
基本施策	: 02 ICT関連企業集積と産学官連携の推進
施策	: 02 ICT/IoT利活用と人材育成の推進










1. 施策の内容

ICT関連産業の集積を目指す本市として、産業集積の中核となるイノベーションセンター、同パークを中心に岩手県立大学との連携、産学官連携を推進し、市内企業に質の高い技術の蓄積と次代を担う若者の人材育成と定着支援を行うため、市内企業及び社会人の人材育成を実施し、ICT/IoT利活用の推進による企業の生産性向上を支援することにより、企業の高度化や起業を支援し、市の特色を活かした人材を育成します。

2. 施策目標値の達成状況

No	施策目標指標	基準値	上:目標見込値/下:達成値			
		H30	R1	R2	R3	R4
1	セミナー、フォーラム等の交流事業の回数(単位:回)	78	88	100	112	124
			147	175	189	-

3. この施策の4年間のスケジュール

R1	R2	R3	R4
ターゲットによる地域人材育成事業の試行展開(若者、学生、企業、シニア) 	地域人材育成事業の戦略的展開の実施 (若者、学生、企業、シニア) 		
ICT/IoT利活用の検討・実施 		ICT/IoT利活用の再検討・実施 	
地域ICTクラブの調査・検討 		地域ICTクラブの設置・運営 	
産学官共同研究事業の改善に関する調査・検討 		産学官共同研究事業の再構築・実施 	
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			
	小学校プログラミング教育必修化 		

4. 施策の達成(実現)に向けた基本計画内の取り組みと方針

本施策「ICT/IoT利活用と人材育成の推進」において、対象とする領域の明確化は必須です。大学が立地する環境と、隣接してICT関連企業が集積する特色を活かし、学生及び地元企業の分野における産学官連携による人材育成を進めます。

- ・次代を担う子どもたちが学べる地域ICTクラブの創設
- ・大学と企業が連携する中で、学生の自由な発想を活かす取組の実施
- ・ICT導入による市内企業の生産性の向上に向けたセミナーの実施

5. 基本計画内の取組と方針のうち、令和4年度の重点課題

人材育成を目的とした、大学と企業の連携による学生のアイデア創出活動の実施

6. 基本計画内方針及び令和4年度重点課題に基づく優先順位の考え方

人材育成に関する3つのターゲット(子ども、学生、市内企業)において、人材育成が継続的に図られる仕組みづくりを最優先とします。また、起業支援、個別企業の経営課題に関わる課題等については、関係機関、金融機関、産業支援団体との連携の下で進めることとします。

7. 今年度の施策について

- ・大学生と企業のつながりを目的とした人材育成事業として、アイデア創出イベントを実施しています。
- ・小学生向けのプログラミングワークショップを実施します。
- ・その他、各種セミナーの実施や、他団体主催の人材育成イベントに積極的に協力することで、地域内の企業活動の活性化を図ります。

【新型コロナウイルス感染症関連施策】

特になし